



学校だより



令和7年 1月8日
1月号
調布市立第一小学校
校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL042(481)7636

新しい年だし、やってみようかな

校長 樋川 宣登志

2025年。新しい年が始まりました。

元日、朝の静かで冷たい空気には気持ちが引きし
まります。皆様、ご家族の笑顔あふれる一年となること
を祈念いたします。本年も、教職員一同、子どもたちが
楽しい学校生活を送れるように力を尽くします。よろし
くお願いいたします。

新年を迎えると、なぜかしら「何かがんばってみよう」
「がんばれるかな」という気持ちが生まれます。自分の
場合は三日坊主で終わりがちですが、それでも「がん
ばろう」という気持ちは大切です、よい機会であると思
います。

学校生活でいえば、そんなせつかくの機会に苦手な
教科をがんばってみる、というのはどうでしょう。

誰でも、得意不得意があります。好きで得意なこ
とを伸ばすことは、もちろん素晴らしいことです。けれど、
小学校で身に付けることは、様々な仕事や趣味の基
礎になるもの。将来、好きなことをやりたい、次のステ
ップに進みたいというときに必要となるものです。小学
校での苦手はなるべくなくしておきたいです。

算数や体育を苦手と感じる人は少なくないでしょう。
「やり方がわからない」「できないことがそのままにな
っている」「やる気にならない」「ただ苦手(と思い込
んでいる)」などが理由として考えられます。

そんな苦手はどうやって手を付けられればいいでし
ょうか。万能薬はありませんが、いくつか合わせて試し
てみるとよさそうです。

[細かくみてる]

算数といっても、「文章題で何算になるかがわから
ない」「計算ができない」「分数が・・・」「図形が・・・」
など様々です。体育では、なわとび、跳び箱、サッカー

といった種目があります。

実はその中の一部が不得意なのに、一括りに「算
数」「体育」が苦手と考えている場合があります。その
ような苦手意識は残念です、解決方法が見付から
なくなります。何がわからないかできないかを、細かく
はつきりさせると、勉強や練習の仕方が見えてきます。

[まず、ちょっとやってみる]

苦手なことに長時間取り組むのは難しいです。「今
日は3問やる」「なわとびに5分挑戦」ぐらいからでは
どうでしょう。以前お伝えした「やる気」にもつながりま
すが、とにかく始めること続けることが大切です。その
とき、テレビやゲームを遠ざける、食卓よりは勉強机に
する、というように環境を整えられるといいです。

[今日勉強したことをもう一度やってみる]

つまり、復習です。

その日に授業で読んだ文章や問題をもう一度読ん
だり解いたりしてみましょう。記憶が新しいだけに、自
分でできるし、しっかりと身に付きます。

[わからないことは教えてもらう]

誰でも、あるコツがわかると急にできるようになった
経験があります。学習でも、同じです。図形に補助線
を引くなら、「頂点を結ぶ」「辺に平行・垂直な線を引
く」などのポイントがあります。跳び箱とひと口にいつ
ても、開脚とび(切り返し系)と台上前転(回転系)では運動の
方向が違います。こういうことは、一人ではなかなか気
付きません。得意な人に教えてもらうのも一つです。

「苦手」と思うことには近づき難いです。けれど、少し
アプローチを変えてみると、思いがけずできるようにな
るかもしれません。特に、子どもたちは。

子どもたちが、何かにチャレンジできる一年である
といいです。